

東北では阿武隈川水系荒川が「水質が最も良好な河川」となりました！**令和 4 年東北地方一級河川の水質現況を発表**

令和 4 年(1～12 月)の東北地方一級河川 12 水系における水質調査結果をとりまとめましたので、お知らせします。

阿武隈川水系荒川が 13 年連続で「水質が最も良好な河川」となりました。

- 「生活環境の保全に関する環境基準」のうち、水質汚濁の代表的な指標である BOD または COD の満足状況は、12 水系中 8 水系が「100%」の調査地点で満足する結果。
- 「人の健康の保護に関する環境基準」の満足状況は、2 地点で基準値を超過(自然由来と推測)
- 住民参加による水質調査も実施。「今後の河川水質管理指標による調査」「水生生物による簡易水質調査」の両調査で、合わせて「224 人、9 団体」に参加していただき調査を実施。
- ダイオキシン類実態調査は全ての地点で基準値を満足。
- 水質事故は 147 件発生。原因は油流出が約 9 割。家庭で灯油タンクから小分け中にその場を離れるなどの不注意によるものが多い。
- **Colum** 北上川上流における水環境保全の取り組み

※本資料は東北地方整備局ホームページ内（記者発表）で掲載しています。

<https://www.thr.mlit.go.jp/>

※国土交通本省ホームページ内で以下のとおり掲載しています。

「全国版の水質現況」及び「各地点調査結果を含む詳細版」

http://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/kankyousuisitu/r4_suisitu.html

<発表記者会> 青森県政記者会、岩手県政記者クラブ、秋田県政記者会、宮城県政記者会、山形県政記者クラブ、福島県政記者クラブ、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

[本件に対するお問い合わせ先]

国土交通省 東北地方整備局 河川部 河川環境課

課長 おおだいら 大平 ともひで 知秀 (内線 3651)

課長補佐 まくち 菊地 じゅん 純 (内線 3656)

仙台市青葉区本町 3-3-1 仙台合同庁舎 B 棟

TEL 022-225-2171 (代) FAX 022-215-3754

令和4年

東北地方

一級河川の水質現況

Recent condition of water quality of class A river in Tohoku

2022

1. 主要河川の地点別年平均水質
2. 生活環境の保全に関する環境基準の満足状況
3. 人の健康の保護に関する環境基準の満足状況
4. 住民参加による水質調査
5. ダイオキシン類実態調査結果
6. 水質事故等の発生状況

Colum

北上川上流における水環境保全の取り組み

令和4年東北地方一級河川の水質現況

Contents

1. 主要河川の地点別年平均水質	01
2. 生活環境の保全に関する環境基準の満足状況	02
3. 人の健康の保護に関する環境基準の満足状況	03
4. 住民参加による水質調査	04
1) 今後の河川（湖沼）水質管理の指標調査	04
2) 水生生物による簡易水質調査（水生生物調査）	08
5. ダイオキシン類実態調査結果	09
6. 水質事故等の発生状況	10

Colum

北上川上流における水環境保全の取り組み	12
---------------------------	----

(参考資料) 各調査地点（BOD・COD）調査結果及び満足状況	15
---------------------------------	----

1. 主要河川の地点別年平均水質

令和4年水質調査結果

阿武隈川水系荒川が13年連続で「平均的な水質(BOD値)が最も良好な河川※」となりました。

令和4年の東北地方20河川の水質状況

(単位: mg/l)

水系名	河川名	調査地点	平均値	県名	地点数	水系名	河川名	調査地点	平均値	県名	地点数											
阿武隈川	阿武隈川	黒岩	1.5	福島	7	北上川	胆沢川	望み大橋	0.6	岩手	3											
		高田橋	1.9	福島				再巡橋	0.7	岩手												
		須賀川	1.0	福島				下嵐江	0.5	岩手												
		阿武隈川	荒川	阿久津		1.1	福島	2	馬淵川	馬淵川	櫛引橋	0.9	青森	3								
				伏黒		1.1	福島				尻内橋	0.7	青森									
				岩沼		1.0	宮城				大橋	0.8	青森									
				丸森		1.4	宮城				鶴寿橋	1.5	青森									
荒川橋	< 0.5			福島	鳥谷川河口	0.8	青森															
名取川	名取川	信夫橋	< 0.5	福島	2	岩木川	岩木川	神田橋	1.4	青森	12											
		関上大橋	1.3	宮城				津軽大橋	1.2	青森												
鳴瀬川	鳴瀬川	名取橋	1.4	宮城	4			米代川	米代川	十三湖大橋		1.0	青森	5								
		小野	1.2	宮城						幡龍橋		1.2	青森									
		南郷	1.0	宮城						山田川河口		1.0	青森									
		下中ノ目	0.8	宮城						安東橋		0.6	青森									
鳴瀬川	吉田川	三本木	0.9	宮城	2					雄物川		雄物川	十三湖中央		0.8	青森	5					
		鹿島台	1.5	宮城									乾橋	1.7	青森							
北上川	北上川	落合	1.0	宮城	16								子吉川	子吉川	上岩木橋	0.7		青森	2			
		飯野川橋	1.0	宮城											雄物川	玉川		長野		0.5	秋田	2
		飯野川	0.9	宮城														最上川		最上川	玉川橋	
		登米	0.9	宮城						榑川		0.7			秋田							
		大泉	0.9	宮城		岳見橋	0.7			秋田												
		金ヶ崎橋	0.9	岩手		子吉川	子吉川			大曲橋	0.9	秋田	2									
		藤橋	1.0	岩手				本荘大橋	0.5	秋田												
		船田橋(2)	0.7	岩手		北上川	旧北上川	宮内	0.6	秋田	2											
		紫波橋	0.9	岩手				最上川	最上川	高屋		0.7	山形	8								
		珊瑚橋	1.0	岩手		長井橋(小出)	1.0			山形												
		狐禅寺	1.1	岩手		谷地橋(下野)	0.7			山形												
		朝日橋	1.0	岩手		糠野目	1.2			山形												
		昭和橋	1.1	岩手		北上川	江合川	暮点橋(稲下)	0.9	山形	4											
		四十四田ダム下流	0.7	岩手				砂越	0.7	山形												
		南大橋	0.7	岩手		北上川	和賀川	堀内	0.8	山形	3											
		北上川橋	1.1	岩手				山室橋	0.6	岩手												
北上大橋	0.9	岩手	切留	0.7	岩手																	
北上川	旧北上川	鹿又	0.9	宮城	北上川	猿ヶ石川	谷内	0.6	岩手	3												
		門脇	0.8	宮城			落合橋	0.6	岩手													
		和冽	1.0	宮城			安野橋	0.9	岩手													
北上川	江合川	轟	0.6	宮城	北上川	赤川	赤川	新川橋(浜中)	0.8	山形	3											
		荒雄	0.8	宮城				蛾眉橋(横山)	0.7	山形												
		短台	1.0	宮城				東橋	0.5	山形												
		大深沢	0.6	宮城																		
北上川	和賀川	山室橋	0.6	岩手	北上川	赤川	赤川			3												
		切留	0.7	岩手																		
		九年橋	0.6	岩手																		
北上川	猿ヶ石川	谷内	0.6	岩手	北上川	赤川	赤川			3												
		落合橋	0.6	岩手																		
		安野橋	0.9	岩手																		

表中の<は、定量下限値であることを示す。

※「平均的な水質が最も良好な河川」の定義

対象河川のうち以下の両方を満たす河川

・各調査地点のBOD年平均値について、全調査地点で平均をとった値が0.5mg/l

・各調査地点のBOD75%値について、全調査地点で平均をとった値が0.5mg/l

(0.5mg/l: 環境省の定めるBODの報告下限値)

(対象河川)

・一級河川(本川): 直轄管理区間に調査地点が2以上ある河川

・一級河川(支川): 直轄管理区間延長が概ね10km以上、かつ直轄管理区間に調査地点が2以上ある河川

2. 生活環境の保全に関する環境基準の満足状況

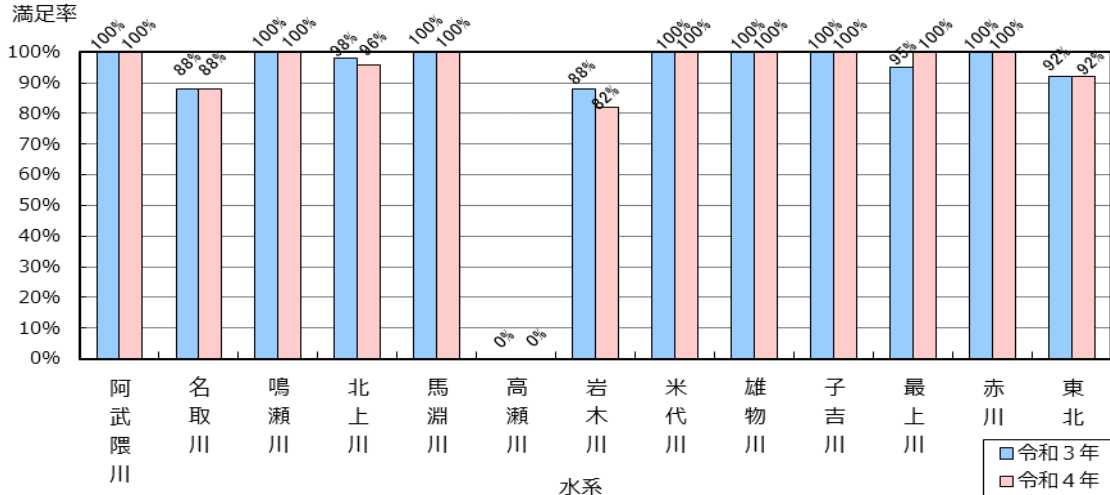
令和4年水質調査結果

生活環境の保全に関する環境基準項目のうち、BOD値又はCOD値（水質有機汚濁の代表的な指標）が全ての調査地点で環境基準を満足した水系は、12水系中8水系となりました。

生活環境を保全するうえで維持することが望ましい基準（環境基準）として定められている項目について水質調査を実施しています。

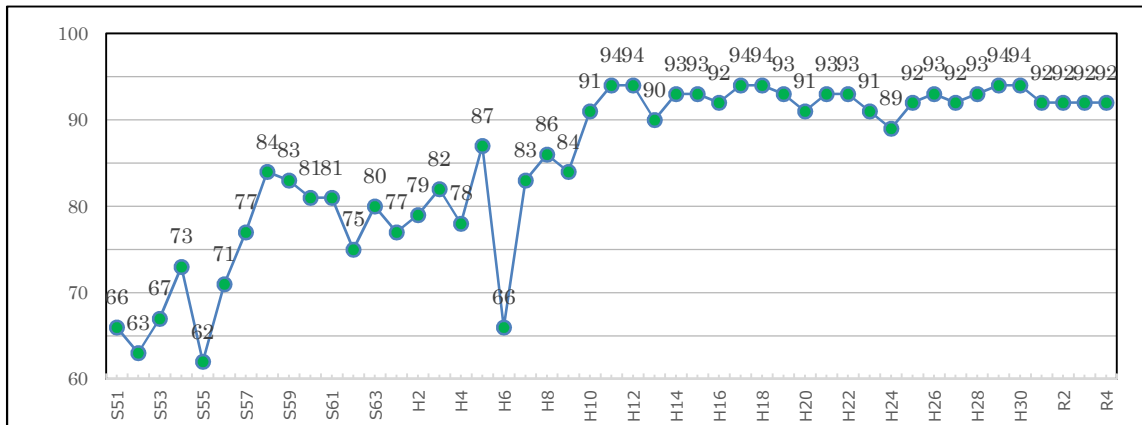
生活環境の保全に関する環境基準項目	
pH（水素イオン濃度）	n-ヘキサン抽出物質
BOD（生物化学的酸素要求量）	総窒素
COD（化学的酸素要求量）	総リン
SS（浮遊物質）	全亜鉛
DO（溶存酸素量）	ノニルフェノール
大腸菌群数	LAS（直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩）
	低層DO（溶存酸素量）

○令和4年は12水系中8水系において全ての調査地点でBOD値又はCOD値が環境基準を満足しました。



※高瀬川は、湖沼での調査地点が多く、全国的にも湖沼等（海域を含む）の満足率は42%と低い数値となっている。

○東北地方整備局管内の全調査地点におけるBOD値又はCOD値の経年的な満足状況は、令和4年は92%であり、高い割合で維持しています。



※「環境基準」は、川の一定の区間及びダム・湖沼で、望ましい水質の目標を定めた値で、川の一定区間毎に類型が指定されており、その類型毎に基準値が定められている。一般に河川ではBOD75%値、ダム・湖沼ではCOD75%値で判断します。

3. 人の健康の保護に関する環境基準の満足状況

令和4年水質調査結果

ほとんどの地点で環境基準を満足しましたが、砒素が2地点、ほう素が1地点で環境基準を満足できませんでした。砒素及びほう素はいずれも自然由来と推定されています。

人の健康の保護するうえでの基準（環境基準）として定められている27項目について水質調査を実施しています。

人の健康の保護に関する環境基準項目	
カドミウム	1, 1, 1-トリクロロエタン
全シアン	1, 1, 2-トリクロロエタン
鉛	トリクロロエチレン
六価クロム	テトラクロロエチレン
砒素	1, 3-ジクロロプロペン
総水銀	チウラム
アルキル水銀	シマジン
P C B	チオベンカルブ
ジクロロメタン	ベンゼン
四塩化炭素	セレン
1, 2-ジクロロエタン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素
1, 1-ジクロロエチレン	ふっ素
シス-1, 2-ジクロロエチレン	ほう素
	1, 4-ジオキサン

○環境基準を満足できなかった地点は、砒素が2地点、ほう素が1地点となります。

超過項目	水系河川名	地点名	最大値 (mg/l)	年間平均値 (mg/l)	環境基準値 (年間平均値) (mg/l)	原因
砒素	北上川水系小鬼ヶ瀬川	天子森	0.026	0.013	0.01	自然由来
砒素	北上川水系江合川	大深沢	0.028	0.019	0.01	自然由来
ほう素	北上川水系江合川	大深沢	1.42	1.069	1	自然由来

4. 住民参加による水質調査

1) 今後の河川（湖沼）水質管理の指標調査

河川をBODだけでなく多様な視点で評価する今後の河川水質指標による調査を、河川では平成17年から、湖沼では平成22年から実施しています。

この背景には、一級河川のBOD（またはCOD）値が環境基準値を満足している割合が9割に達し、水質改善が進む一方で、水質改善に伴い、人々が河川とふれあう機会が増え、河川の多様な生態系に対する関心が高まっているため、BODだけでなく多様な視点で河川を捉えることが求められていることがあります。

調査内容には、住民との協働による調査項目が含まれており、河川管理者だけでなく、住民参加型の調査となっています。（ゴミの量、透視度、川底の感触、水の臭い、生物の生息）

令和4年は5水系12地点で調査を行い、そのうち、住民等参加による調査は3水系4地点で、小中学生等延べ52人、4団体の参加を得て調査を実施しました。（※水生生物による簡易水質調査参加人数との重複あり）

○今後の河川水質管理の指標【4つの評価項目】（赤字が住民による評価項目）

- ①「人と河川の豊かなふれあいの確保」
水質に関係する分かりやすい指標（**ゴミの量、透視度、川底の感触、水の臭い**、糞便性大腸菌群数）により評価
- ②「豊かな生態系の確保」
水生生物の生息・生育・繁殖に関係する指標（呼吸に支障が無いこと（DO）、毒性が無いこと（NH₄-N）、**生物が生息していること**）により評価
（※NH₄-N=アンモニウム態窒素：し尿や家庭下水中の有機物の分解に起因する）
- ③「利用しやすい水質の確保」
上水利用・農業用水・工業用水・水産用水の利用に関係する指標（トリハロメタン生成能、2-MIB、ジオスミン、NH₄-N）により評価
- ④「下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保」
下流部の富栄養化や閉鎖性水域（ダム・湖沼・湾）の富栄養化への影響に関係する指標（T-N、T-P）により評価

○今後の湖沼水質管理の指標【4つの評価項目】（赤字が住民との協働調査）

- ①「人と湖沼の豊かなふれあいの確保」
水質に関係する分かりやすい指標（**ゴミの量、透視度、湖底の感触、水の臭い**、アオコ発生、糞便性大腸菌群数）により評価
- ②「豊かな生態系の確保」
水生生物の生息・生育・繁殖に関係する指標（呼吸に支障が無いこと（DO）、毒性が無いこと（NH₄-N）、**生物が生息していること**）により評価
（※NH₄-N=アンモニウム態窒素：し尿や家庭下水中の有機物の分解に起因する）
- ③「利用しやすい水質の確保」
上水利用に関係する指標（トリハロメタン生成能、2-MIB、ジオスミン、NH₄-N）により評価
- ④「下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保」
下流部の富栄養化や閉鎖性水域（ダム・湖沼・湾）の富栄養化への影響に関係する指標（T-N、T-P）により評価

○今後の河川水質管理の指標

住民との協働による調査項目①、②の調査結果を以下に示す。

①「人と河川の豊かなふれあいの確保」の調査結果

年間評価ランク	地点数	河川名/地点名
A	0	-
B	2	雄物川水系成瀬川 / 成瀬川橋 最上川水系丹生川 / 丹生川大橋
C	6	阿武隈川水系阿武隈川 / 丸森橋 阿武隈川水系阿武隈川 / 天神橋 阿武隈川水系白石川 / 白幡橋 名取川水系名取川 / JR名取川鉄道橋 名取川水系広瀬川 / JR広瀬川鉄道橋 最上川水系金山川 / 安久土橋
D	0	-
合計	8	-

※地点評価は、最も低いランクとし、年間の地点評価とも、最頻ランク（最頻ランクが2つ以上の場合は低い方）としている。

「人と河川の豊かなふれあいの確保」の評価項目と評価レベル（赤枠は住民との協働調査）

ランク	説明	ランクのイメージ	評価項目と評価レベル※1)				糞便性大腸菌群数 (個/100mℓ)
			ゴミの量	透視度 (cm) ※2)	川底の感触 ※3,4)	水のおい	
A	顔を川の水につけやすい		川の中や水際にゴミは見あたらないまたは、ゴミはあるが全く気にならない	100以上	不快感がない	不快でない	100以下
B	川の中に入って遊びやすい		川の中や水際にゴミは目につくが、我慢できる	70以上	ところどころヌルヌルしているが、不快でない		1000以下
C	川の中には入れないが、川に近づくことができる		川の中や水際にゴミがあって不快である	30以上	ヌルヌルしており不快である	水に鼻を近づけて不快な臭いを感じる 風下の水際に立つと不快な臭いを感じる	1000を超えるもの
D	川の水に魅力がなく、川に近づきにくい		川の中や水際にゴミがあっても不快である	30未満			

※1 評価レベルについては、河川の状況や住民の感じ方によって異なるため、必要に応じて住民による感覚調査等を実施し、設定することとする。

※2 実際には100cmを超える水質レベルを設定すべきであり、今後の測定方法の開発が望まれる。

※3 川底の感触とは、河床の礫に付着した有機物や藻類によるヌルヌル感を対象とする。そのため、川底の感触は、ダム貯水池、湖沼、堰の湛水域には適用しない。

※4 感触の「不快感」については、各々以下のイメージである

A:素足で入りたいと感じる B:履物があれば入りたいと感じる C:履物をはいても入りたくない

②「豊かな生態系の確保」の調査結果

年間評価ランク	地点数	河川名/地点名
A	8	阿武隈川水系阿武隈川 / 丸森橋 阿武隈川水系白石川 / 白幡橋 名取川水系名取川 / JR名取川鉄道橋 名取川水系広瀬川 / JR広瀬川鉄道橋 雄物川水系成瀬川 / 成瀬川橋 雄物川水系岩見川 / 豊成大橋 最上川水系丹生川 / 丹生川大橋 最上川水系金山川 / 安久土橋
B	1	阿武隈川水系阿武隈川 / 天神橋
C	0	-
D	0	-
合計	9	-

※地点評価及び年間の地点評価とも、最も低いランクとしている。

「豊かな生態系の確保」の評価項目と評価レベル（赤枠は住民との協働調査）

ランク	説明	評価項目と評価レベル		
		DO(mg/ℓ)*1)	NH4-N(mg/ℓ)*2)	水生生物の生息*3)
A	生物の生息・生育・繁殖環境として非常に良好	7以上	0.2以下	I. きれいな水 ・カワゲラ ・ナガレトビケラ等
B	生物の生息・生育・繁殖環境として良好	5以上	0.5以下	II. 少しきたない水 ・コガタシマトビケラ ・オオシマトビケラ等
C	生物の生息・生育・繁殖環境として良好とは言えない	3以上	2.0以下	III. きたない水 ・ミズムシ ・ミズカマキリ等
D	生物が生息・生育・繁殖しにくい	3未満	2.0を超えるもの	IV. 大変きたない水 ・セスジユスリカ ・チョウバエ等

※1 「DO」： 溶存酸素。水生生物が生きていくうえで不可欠な水中の酸素量。

※2 「NH4-N」： アンモニウム態窒素。水生生物に影響を与える毒性を評価する指標。

※3 水生生物の生息は流れのある瀬で調査を実施する。そのため、水生生物の生息はダム貯水池、湖沼、堰の湛水域には適用しない。

○今後の湖沼水質管理の指標

住民との協働による調査項目①、②の調査結果を以下に示す。

①「人と河川の豊かなふれあいの確保」の調査結果 ⇒ 令和4年は調査なし

②「豊かな生態系の確保」の調査結果※湖沼において住民との協働調査なし

年間評価ランク	地点数	湖沼名/地点名
A	0	-
B	0	-
C	1	阿武隈川水系摺上川ダム / 基準地点
D	1	阿武隈川水系三春ダム / 基準地点
合計	2	-

※地点評価及び年間の地点評価とも、最も低いランクとしている。

「豊かな生態系の確保」の評価項目と評価レベル

ランク	説明	評価項目と評価レベル	
		底層 DO (mg/L)	NH ₄ -N (mg/L)
A	生物の生息・生育・繁殖環境として非常に良好	7 以上	0.2 以下
B	生物の生息・生育・繁殖環境として良好	5 以上	0.5 以下
C	生物の生息・生育・繁殖環境として良好とは言えない	3 以上	2.0 以下
D	生物の生息・生育・繁殖しにくい	3 未満	2.0 を超えるもの

※1 「底層DO」：底層溶存酸素。水生生物が生きていくうえで不可欠な水中の酸素量。

※2 「NH₄-N」：アンモニウム態窒素。水生生物に影響を与える毒性を評価する指標。

2) 水生生物による簡易水質調査（水生生物調査）

令和4年水質調査結果

水生生物は水質汚濁の長期的・複合的な影響を反映していると考えられており、これら水生生物の種類や数を調べることで、大まかな河川の水質状況を評価できます。

人間活動による河川への汚濁の影響を受け、水生生物がどのように変化するかという視点から行われた研究を基礎としています。

各水質階級を判断するための指標生物を設定しており、この生物により水質が判断されます。

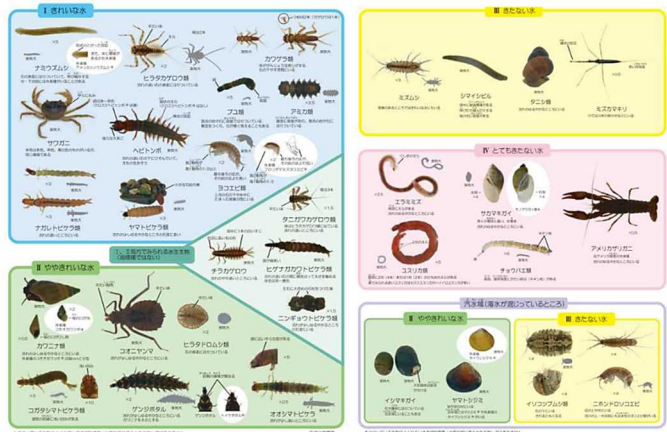
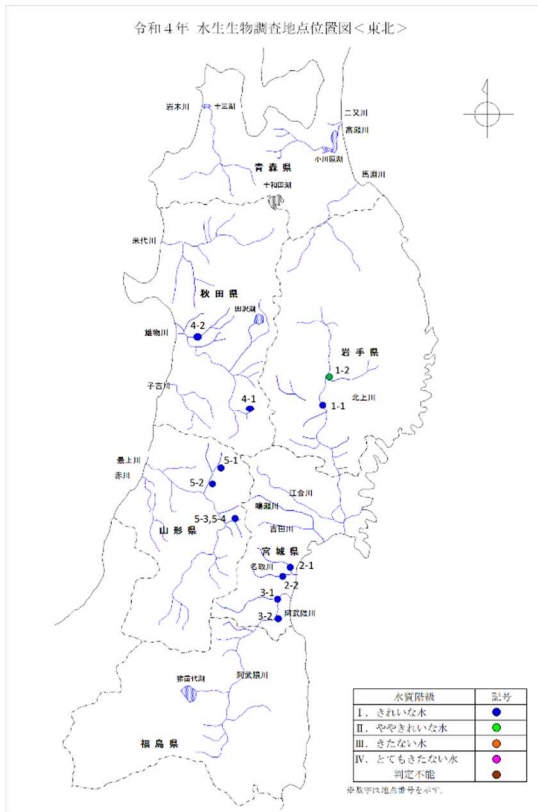
また、多数の地域の住民（小中学校等）に参加して頂き、河川愛護の必要性を認識していただく良い機会にもなっています。

令和4年は5水系12地点で調査を行い、そのうち、住民等参加による調査は4水系9地点で、小中学生等延べ224人、9団体の参加を得て実施しました。（※今後の河川水質管理指標による調査参加人数との重複あり）

【指標生物について】

- ①全国的に見つけることができ、ある程度の数がないと、夏の期間は必ずいる種。
- ②誰にでも見つけることができ、似ている種が少なく、区別が簡単。
- ③水の汚れ（有機物濃度）に対しては生息する幅が狭い生物。
- ④水深の浅いところ（水深30cm以下）に生息している生物。

水質階級と指標生物



水系名	河川名	地点番号	地点名
北上川	北上川	1-1	稲瀬地区
北上川	北上川	1-2	花巻地区水辺プラザ
名取川	広瀬川	2-1	JR広瀬川鉄道橋
名取川	名取川	2-2	JR名取川鉄道橋
阿武隈川	白石川	3-1	白幡橋
阿武隈川	阿武隈川	3-2	丸森橋
雄物川	成瀬川	4-1	成瀬川橋
雄物川	岩見川	4-2	豊成大橋
最上川	金山川	5-1	安久土橋
最上川	泉田川	5-2	鮭川と泉田川の合流点
最上川	丹生川	5-3	丹生川大橋
最上川	丹生川	5-4	丹生川大橋

5. ダイオキシン類実態調査結果

令和4年水質調査結果

ダイオキシン類とは、ダイオキシン類対策特別措置法に定義されている3種の化合物群です。毒性が強く、焼却、農薬等の製造、パルプの塩素漂白などで意図せずに生成され残留性が高い物質です。
令和3年度に実施したダイオキシン類の実態調査では、いずれの地点においても水質・底質の環境基準（水質：1pg-TEQ/ℓ 底質：150pg-TEQ/g）を満足しました。

ダイオキシン類（※1）については、平成11年度から管内12水系56地点において継続的に水質と底質の調査を実施しており、令和4年度は**12水系25地点**において調査を実施しました。
水質・底質ともに、年間の評価値では**全地点で環境基準を満足**しております。

調査結果の概要

	調査地点数	要監視濃度 ^{※2} を超えた地点数	環境基準値を超えた地点数
水質	25 地点	0 地点	0 地点
底質	25 地点	0 地点	0 地点

※1… ダイオキシン類対策特別措置法に定義される『ポリ塩化ジベンゾーパラジオキシン』『ポリ塩化ジベンゾフラン』『ダイオキシン様塩化ビフェニル』の3種の化合物群。非意図的に生成され、毒性が非常に強く、残留性が高い物質。

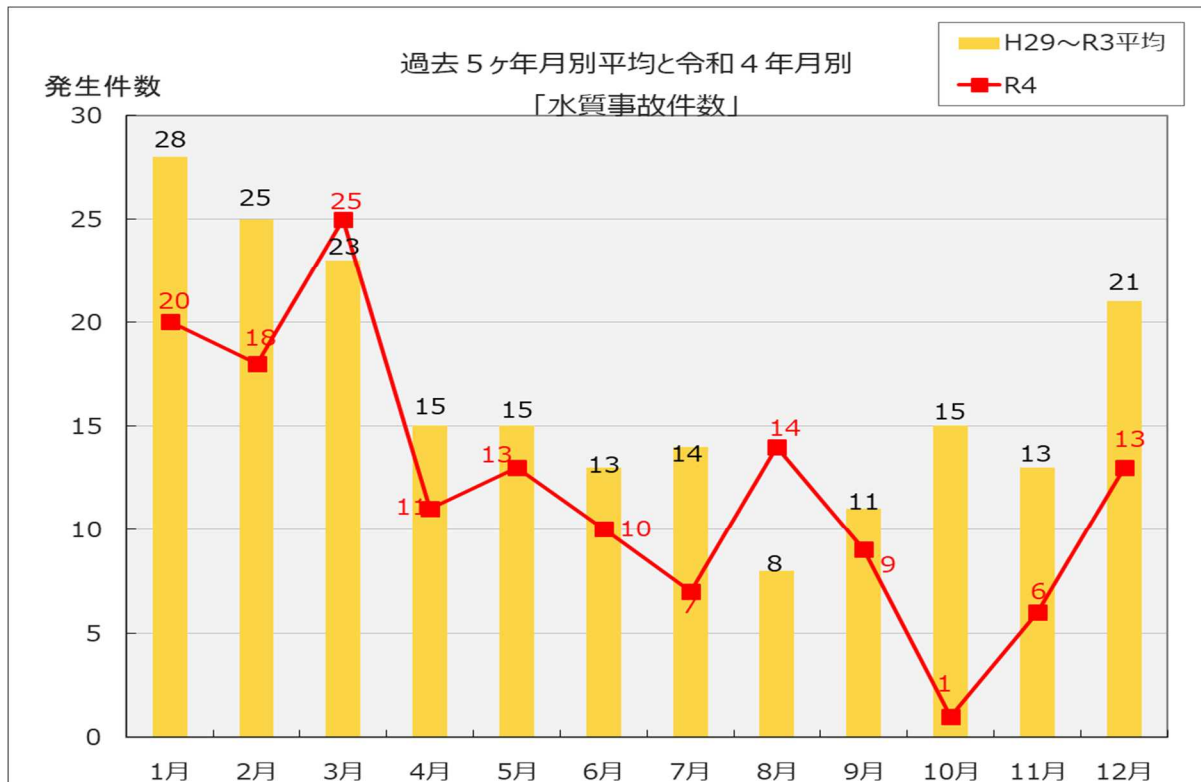
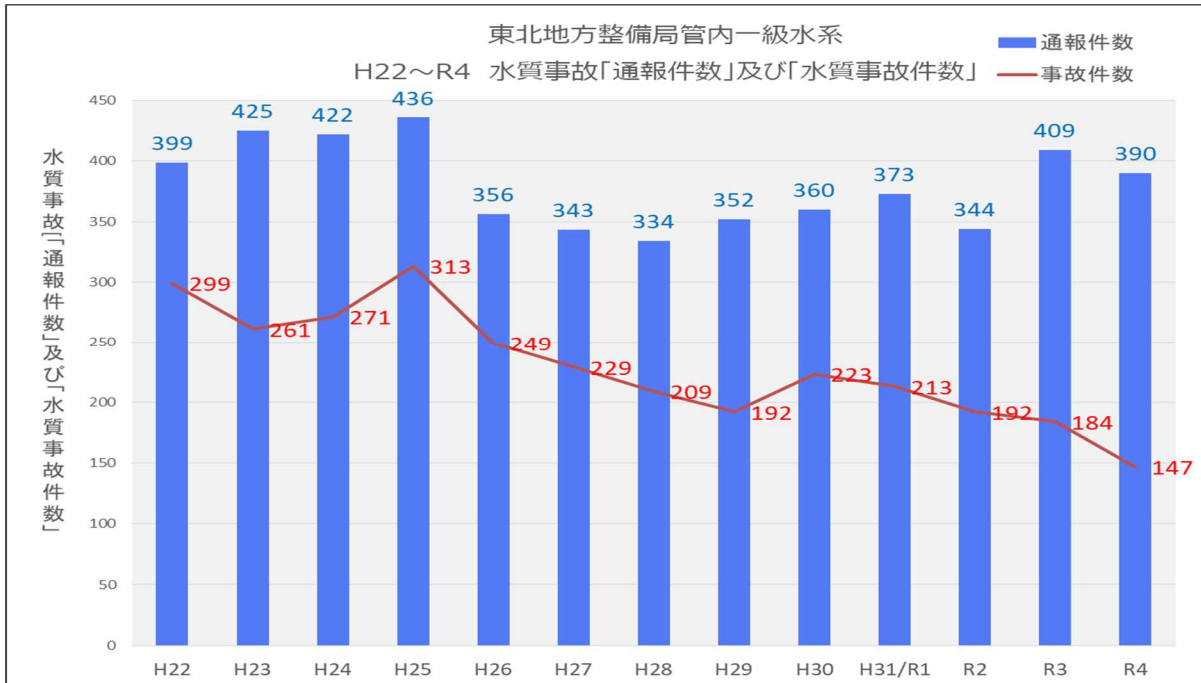
※2… 国土交通省が重点的に監視する際の目安として定めている濃度で、環境基準値の1/2。要監視濃度を超えた地点については、その後の調査で8回連続して要監視濃度を下回るまで、重点監視地点として年4回の調査（通常の調査地点は年1回）を実施する。

6. 水質事故等の発生状況

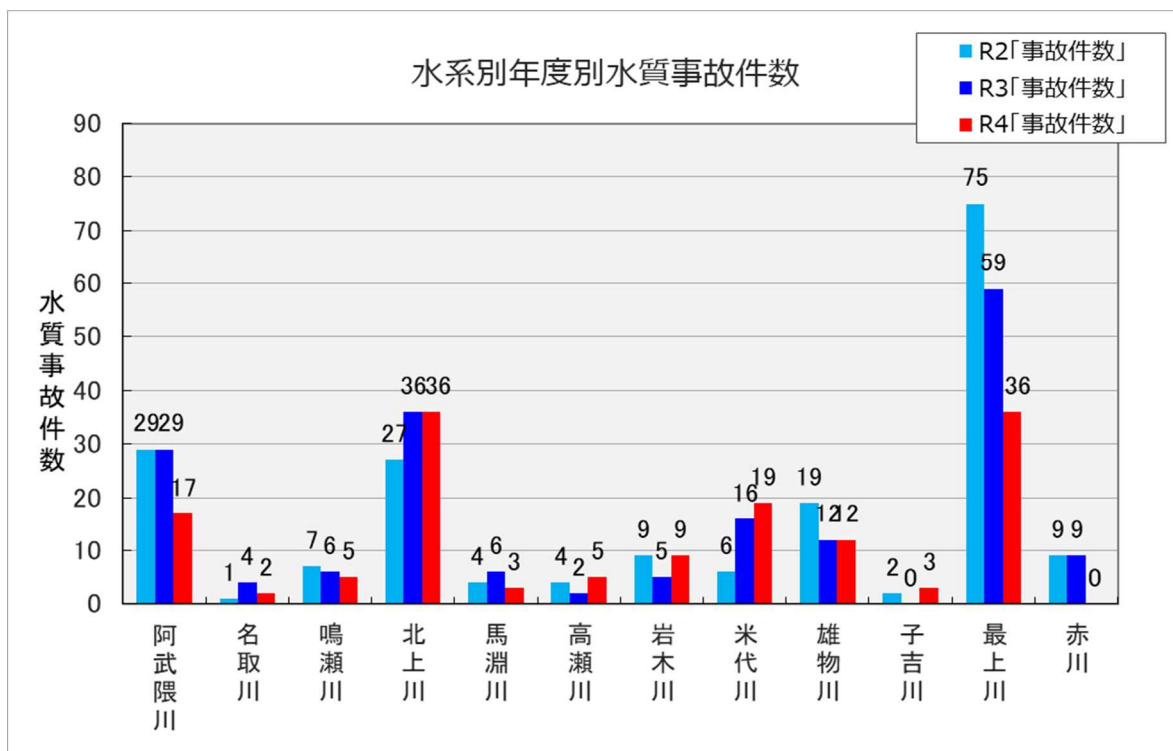
令和4年の東北地方整備局管内での水質事故「通報件数」は390件、内、公共用水域まで流出した「水質事故件数」は、147件。迅速な対応により通報のあったものの半数以上が水質事故に至らずに処理されている状況です。

月別で見ると令和4年1月～2月は過去五カ年平均より大幅に減少しておりますが、特に大雪後に発生する傾向となっております。

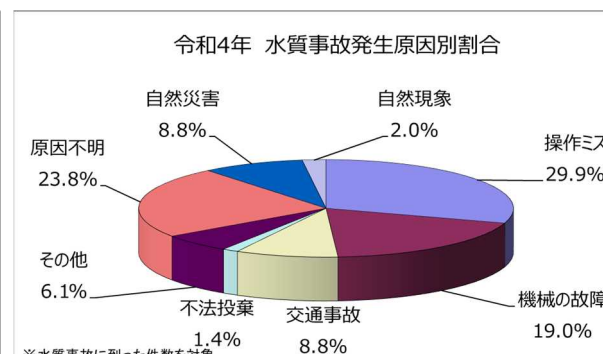
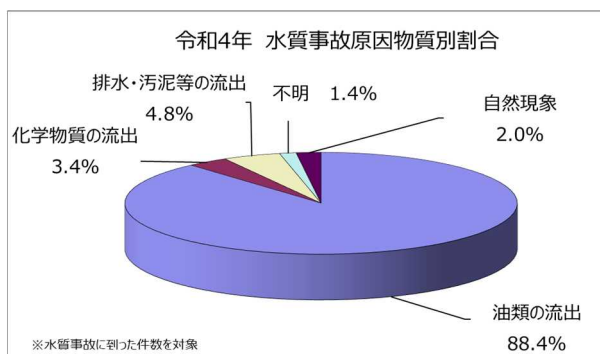
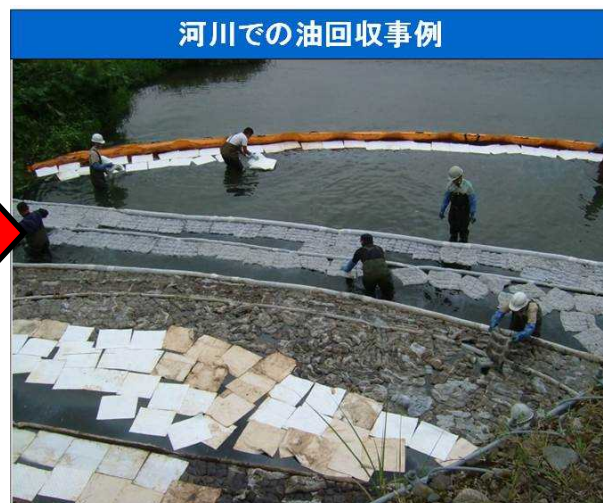
関係機関（国、県、市町村、消防、警察、水道部局等）による各水系水質汚濁対策連絡協議会を設立し、連携しながら水質事故対応にあたっています。



水系別では、北上川、最上川、米代川、阿武隈川の水質事故が多い。



水質事故の原因は約 9 割が油の流出によるもの。家庭で灯油タンクから小分け中にその場を離れるなどの、不注意によるものが多い。



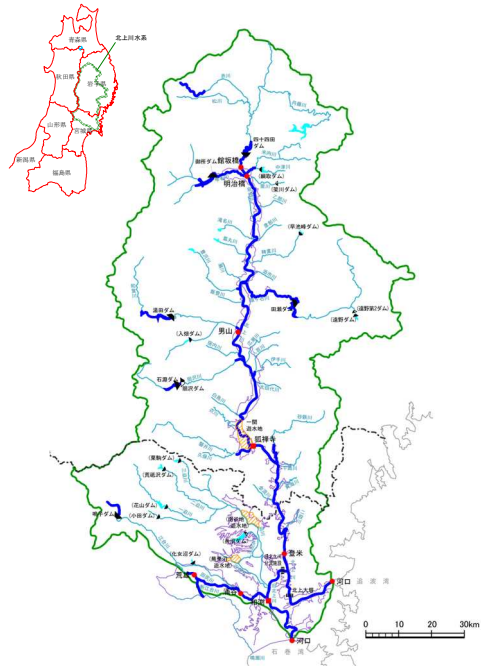
「北上川上流における水環境保全の取り組み」

北上川上流の管理を担当している岩手河川国道事務所から、水環境保全の取り組みについて紹介します。

1. 北上川流域の概要

北上川は、岩手県北部の岩手町御堂地区にある「弓弭（ゆはず）の泉」が源泉と言われています。弓弭の泉は、前九年合戦で源頼義、義家父子が進軍した際、打ち続く炎暑に兵馬苦しむを忍びず、観音に救世を祈願し、義家が弓弭（ゆはず）を持って岩に刺したところ、泉が湧き出たといわれ、その泉（弓弭の泉）が北上川の源泉とされています。

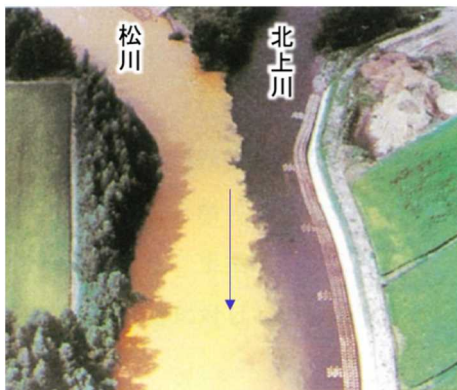
北上川は岩手県の中央部を北から南へ流れ、一関市の狐禅寺下流の狭窄部（川幅が狭い部分）を通り、宮城県の新野郡に入り、仙台平野の東側を流れ、登米市津山町で二つに分かれると、北上川本川は追波湾に注ぎ、旧北上川は石巻湾に注ぐ、幹線流路延長 249km、流域面積 10,150 km²キロメートルの東北最大の河川です。岩手県内の幹線流路延長は 195km、流域面積は 7,861 km²に及び 15 の市町を潤しています。



2. 北上川上流の歴史

北上川は昔からきれいな水が流れ、豊富な水量が人々の生活を潤してきました。大正時代に入ると支川赤川の上流に松尾鉦山が開かれ、一時は東洋一の硫黄鉦山と呼ばれていましたが、そこから流出する強酸性の坑廃水により赤川は汚濁し（写真-1）、その量が多くなるにつれ北上川にも汚濁が広がりました。

昭和 20 年代後半からは魚が生息できないほどになり、北上川は「死の川」となり人々は遠ざかりました。その後、坑廃水処理の新中和処理施設（写真-2）の建設等、水質を改善する様々な事業を行った結果、現在では盛岡市内を流れる中津川で鮭の遡上が確認されるまで北上川の水質は改善され、北上川は「母なる川」として甦りました。



（写真-1 松川（赤川の下流）と北上川の合流点付近の状況【昭和 49 年頃】）



（写真-2 旧松尾鉦山新中和処理施設）

3. 水質事故の発生状況

北上川上流における公共用水域の水質事故は、近年では平成 29 年の 44 件がピークで、令和 2 年に 21 件まで減少していましたが、令和 3 年に 34 件と増加し、令和 4 年は 31 件発生するなど、横ばいの状況となっているところです。

令和 4 年の水質事故の発生状況を見ると、原因物質別で 29 件が油類であり、その原因は操作ミス及び交通事故によるものが 7 割を超えています。操作ミスは、工場・事業所及び一般家庭において、取り扱いの不注意によるもので、その点を改善できれば事故件数を減らすことができるものです。

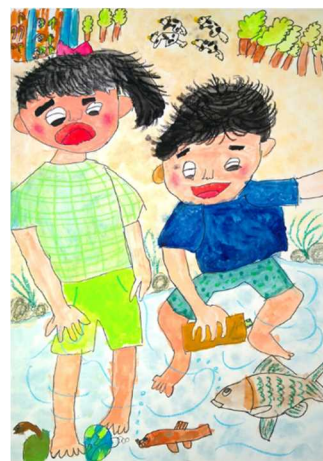
4. 水環境保全の取り組み

北上川水系水質汚濁対策連絡協議会上流支局では、水環境保全のため、次の取り組みを行っています

①「川をきれいにする」児童図画コンクールの実施

北上川上流域内の次世代を担う小学校児童に、川をきれいにする図画・ポスターの作品を募集しています。児童に描画を通して、川をきれいにするためにはどうしたらよいのかを考え、認識していただく機会になるよう、平成 2 年度から毎年作品を募集してきました。

多くの児童から作品の応募があり、表彰作品は、盛岡市をはじめとする北上川沿川の大型店舗や公共施設にて展示しており、多くの一般の方の目にも触れることで、ご覧になられた方々にも川について考えていただく機会となっています。(写真-3～4)



(写真-3～4 左より R4 年 ポスター部門特選作品、図画部門特選作品)

②水質事故の初期対応に関する講習会

水質汚濁対策連絡協議会を構成する自治体及び消防から実務担当者が参加し、公共用水域に油が流出したことを想定して、下流に流出が拡大しないよう、初期における対応を講習しています。(写真-5～6)



(写真-5～6 水質事故の初期対応講習会 実施状況写真)

③水質事故に関する広報の実施

ポスター、水質事故発生マップを作成し、配布及びホームページで紹介するほか、自治体の広報紙に掲載するなど、水質事故防止のための広報活動を行っています。(写真-7～8)



(写真-7～8 左よりポスター、水質事故発生マップ)

④水生生物調査による簡易水質調査

小学校児童の体験学習の一環として、北上川における水生生物調査を体験していただいています。川の浅瀬で石を持ち上げ、小さな水生生物を発見すると、児童たちのはしゃぐ声が響きます。

観察した水生生物の生息状況から簡易水質調査を行い、児童たちと北上川の水質状況を確認しています。
(写真-9～10)



(写真-9～10 小学生児童による水生生物調査による簡易水質調査実施状況)

⑤一斉河川清掃

平成 19 年度から、北上川において毎年 4 月の第 3 土曜日に、一斉河川清掃を実施しています。

令和 2～4 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止していましたが、令和 5 年は 4 年ぶりの開催の運びとなりました。多くのサポーターの皆さんと、「地域のみんなで北上川をきれいに」しています。

5. 最後に

北上川上流域の中核市である盛岡市は、北上川とその支川の雫石川・中津川の三川が合流する地形も相まって、観光地としても人気があり、今年 1 月にはアメリカの有力紙が発表した「2023 年に行くべき 52 か所」の 1 つとして、ロンドンに続き 2 番目に紹介されました。

盛岡市の中心市街地を流れるきれいな北上川の背景に荘厳な岩手山が眺望できることも大きな要素となっていることから、これからも北上川の水質環境の保全の取り組みに邁進してまいりたいと思います。皆さんも是非、お越しください。

参考資料

河川の水質現況(BOD)と環境基準の満足状況

水系名	河川名	地点名	令和4年				水系名	河川名	地点名	令和4年			
			環境基準 (類型)	年間 平均値 (mg/L)	75%値 (mg/L)	環境基準 満足状況				環境基準 (類型)	年間 平均値 (mg/L)	75%値 (mg/L)	環境基準 満足状況
阿武隈川	阿武隈川	阿久津	B	1.1	1.4	○	北上川	北上川	飯野川橋	A	1.0	1.2	○
阿武隈川	阿武隈川	丸森	B	1.4	1.9	○	北上川	北上川	北上川橋	A	1.1	1.3	○
阿武隈川	阿武隈川	岩沼	A	1.0	1.3	○	北上川	北上川	北上大橋	A	0.9	1.3	○
阿武隈川	阿武隈川	高田橋	B	1.9	2.3	○	北上川	和賀川	九年橋	A	0.6	0.6	○
阿武隈川	阿武隈川	黒岩	B	1.5	1.8	○	北上川	和賀川	山室橋	AA	0.6	0.6	○
阿武隈川	阿武隈川	須賀川	B	1.0	1.1	○	北上川	和賀川	切留	AA	0.7	0.6	○
阿武隈川	阿武隈川	伏黒	B	1.1	1.3	○	馬淵川	馬淵川	櫛引橋	A	0.9	1.0	○
阿武隈川	阿武隈川	舟場	B	0.9	0.8	○	馬淵川	馬淵川	尻内橋	B	0.7	0.8	○
阿武隈川	荒川	荒川橋	A	<0.5	<0.5	○	馬淵川	馬淵川	大橋	B	0.8	0.9	○
阿武隈川	荒川	信夫橋	A	<0.5	<0.5	○	岩木川	岩木川	安東橋	A	0.6	0.7	○
阿武隈川	積迎堂川	下宿	B	1.0	1.2	○	岩木川	岩木川	乾橋	A	1.7	2.0	○
阿武隈川	摺上川	摺上川ダム	A	0.5	<0.5	○	岩木川	岩木川	三好橋	A	1.4	1.9	○
阿武隈川	太滝根川	三春ダム	A	1.2	1.4	○	岩木川	岩木川	山田川河口	B	1.0	1.1	○
名取川	大瀬川	三橋	B	1.3	1.1	○	岩木川	岩木川	十三湖大橋	B	1.0	1.3	○
名取川	前川	北向橋	AA	0.5	<0.5	○	岩木川	岩木川	十三湖中央	B	0.8	1.1	○
名取川	太郎川	いもくぼ橋	AA	0.6	0.6	○	岩木川	岩木川	上岩木橋	A	0.7	0.7	○
名取川	北川	北川橋	AA	0.5	<0.5	○	岩木川	岩木川	神田橋	A	1.4	2.1	○
名取川	名取川	名取橋	B	1.4	1.6	○	岩木川	岩木川	鳥谷川河口	B	0.8	0.8	○
名取川	名取川	関上大橋	B	1.3	1.4	○	岩木川	岩木川	津軽大橋	B	1.2	1.5	○
名取川	芥川	名取川合流前	C	1.1	1.3	○	岩木川	岩木川	鶴寿橋	A	1.5	2.3	○
鳴瀬川	吉田川	鹿島台	B	1.5	1.7	○	岩木川	岩木川	幡龍橋	A	1.2	1.3	○
鳴瀬川	吉田川	落合	B	1.0	1.2	○	岩木川	浅瀬石川	朝日橋	A	0.7	0.8	○
鳴瀬川	善川	善川橋	B	1.0	1.4	○	岩木川	平川	平川橋	A	0.8	1.1	○
鳴瀬川	鳴瀬川	下中ノ目	A	0.8	0.9	○	岩木川	平川	豊平橋	A	0.8	1.3	○
鳴瀬川	鳴瀬川	三本木	A	0.9	1.0	○	米代川	小又川	森吉山ダム	未	0.8	1.3	-
鳴瀬川	鳴瀬川	小野	B	1.2	1.5	○	米代川	米代川	十二所	B	0.7	0.9	○
鳴瀬川	鳴瀬川	南郷	A	1.0	1.1	○	米代川	米代川	新真中橋(真中橋)	B	0.7	0.9	○
北上川	猿ヶ石川	安野橋	A	0.9	0.9	○	米代川	米代川	鷹巣	B	0.8	0.8	○
北上川	猿ヶ石川	落合橋	A	0.6	0.7	○	米代川	米代川	二ッ井	B	0.7	0.8	○
北上川	猿ヶ石川	谷内	A	0.6	0.6	○	米代川	米代川	能代	B	0.7	0.7	○
北上川	旧北上川	鹿又	B	0.9	1.1	○	雄物川	横手川	藤木上橋	B	1.2	1.5	○
北上川	旧北上川	門脇	B	0.8	0.9	○	雄物川	皆瀬川	岩崎橋	A	0.6	0.6	○
北上川	旧北上川	和湖	A	1.0	1.0	○	雄物川	玉川	玉川ダム	AA	<0.5	<0.5	○
北上川	江合川	荒雄	B	0.8	0.8	○	雄物川	玉川	玉川橋	A	0.6	0.5	○
北上川	江合川	轟	AA	0.6	0.6	○	雄物川	玉川	長野	A	0.5	<0.5	○
北上川	江合川	大深沢	AA	0.6	0.5	○	雄物川	成瀬川	真人橋	AA	0.5	0.5	○
北上川	江合川	短台	B	1.0	1.1	○	雄物川	雄物川	岳見橋	A	0.7	0.8	○
北上川	砂鉄川	門崎橋	A	0.6	0.6	○	雄物川	雄物川	酒時橋	A	0.5	<0.5	○
北上川	雫石川	東北本線鉄橋	A	0.6	0.7	○	雄物川	雄物川	大曲橋	A	0.9	0.9	○
北上川	雫石川	御所ダム下流	A	0.7	0.7	○	雄物川	雄物川	樺川	A	0.7	0.7	○
北上川	雫石川	春木場	A	0.6	0.5	○	雄物川	雄物川	雄物川橋	A	0.6	0.6	○
北上川	葛根田川	葛根田	A	0.6	0.6	○	子吉川	子吉川	宮内	A	0.6	0.7	○
北上川	南川	南川	A	0.6	0.5	○	子吉川	子吉川	本荘大橋	B	0.5	<0.5	○
北上川	小鬼ヶ瀬川	天子森	未	0.6	0.5	-	最上川	寒河江川	中村	AA	0.6	0.7	○
北上川	小友川	小友橋	A	0.6	0.5	○	最上川	最上川	基点橋	A	0.9	0.9	○
北上川	前川	前川	AA	<0.5	<0.5	○	最上川	最上川	谷地橋	A	0.7	0.7	○
北上川	胆沢川	下嵐江	AA	0.5	<0.5	○	最上川	最上川	糠野目	A	1.2	1.4	○
北上川	胆沢川	再巡橋	A	0.7	0.7	○	最上川	最上川	高屋	A	0.7	0.7	○
北上川	胆沢川	望み大橋	A	0.6	0.6	○	最上川	最上川	砂越	A	0.7	0.6	○
北上川	胆沢川	胆沢ダム貯水池	A	0.6	0.6	○	最上川	最上川	長井橋	A	1.0	1.3	○
北上川	尿前川	尿前橋	未	0.6	<0.5	-	最上川	最上川	堀内	A	0.8	0.9	○
北上川	中津川	御蔵橋	A	0.6	0.7	○	最上川	最上川	両羽橋	A	0.7	0.7	○
北上川	磐井川	狐禅寺橋	C	0.9	1.0	○	最上川	最上川	戸沢橋	A	0.6	0.6	○
北上川	磐井川	上の橋	A	0.6	0.7	○	最上川	鮭川	八千代橋	AA	0.6	0.5	○
北上川	北上川	金ヶ崎橋	A	0.9	0.9	○	最上川	須川	落合橋	B	1.0	1.0	○
北上川	北上川	狐禅寺	A	1.1	1.1	○	最上川	相沢川	宝永橋	A	0.7	0.9	○
北上川	北上川	珊瑚橋	A	1.0	1.1	○	最上川	村山野川	舟戸橋	A	0.9	0.9	○
北上川	北上川	四十四田ダム下流	A	0.7	0.7	○	最上川	丹生川	丹生川大橋	A	0.7	0.7	○
北上川	北上川	紫波橋	A	0.9	1.0	○	最上川	置賜白川	白川ダム	A	0.7	0.7	○
北上川	北上川	昭和橋	A	1.1	1.5	○	最上川	置賜野川	長井ダム	A	0.8	0.9	○
北上川	北上川	船田橋(2)	A	0.7	0.6	○	最上川	立谷沢川	東雲橋	A	0.5	<0.5	○
北上川	北上川	大泉	A	0.9	0.9	○	赤川	赤川	織眉橋(横山)	A	0.7	0.7	○
北上川	北上川	朝日橋	A	1.0	1.3	○	赤川	赤川	新川橋(浜中)	A	0.8	0.9	○
北上川	北上川	登米	A	0.9	0.9	○	赤川	赤川	東橋	A	0.5	0.5	○
北上川	北上川	藤橋	A	1.0	0.9	○	赤川	梵宇川	月山ダム	A	0.6	0.8	○
北上川	北上川	南大橋	A	0.7	0.8	○							
北上川	北上川	飯野川	A	0.9	0.9	○							

河川の水質現況(COD)と環境基準の満足状況

水系名	河川名	地点名	令和4年			
			環境基準 (類型)	年間 平均値 (mg/L)	75%値 (mg/L)	環境基準 満足状況
阿武隈川	白石川	七ヶ宿ダム	A	2.1	2.2	○
名取川	碓石川	釜房ダム	AA	2.5	2.7	○
北上川	猿ヶ石川	田瀬ダム貯水池	A	3.1	3.8	○
北上川	江合川	鳴子ダム	AA	1.9	2.1	○
北上川	雫石川	御所ダム貯水池	A	1.7	1.9	○
北上川	北上川	四十四田ダム貯水池	A	2.0	2.1	○
北上川	和賀川	湯田ダム貯水池	A	2.2	2.9	○
高瀬川	高瀬川	河口	A	4.6	5.5	○
高瀬川	高瀬川	高瀬橋	A	4.9	5.3	○
高瀬川	高瀬川	小川原湖(No. A)	A	5.0	5.3	○
高瀬川	高瀬川	小川原湖(No. C)	A	5.3	5.9	○
高瀬川	高瀬川	小川原湖(No. G)	A	30.1	34.8	○
高瀬川	高瀬川	小川原湖(No. H)	A	13.3	16.3	○
岩木川	岩木川	津軽ダム	A	2.1	2.3	○
岩木川	浅瀬石川	浅瀬石川ダム	A	3.4	3.3	○
最上川	寒河江川	寒河江ダム	A	1.7	1.8	○

○印：環境基準を満足した地点、-印：環境基準類型指定が未設定の地点

●河川における類型別環境基準 (BOD 75%値)

- AA 類型：1mg/L以下
- A 類型：2mg/L以下
- B 類型：3mg/L以下
- C 類型：5mg/L以下
- D 類型：8mg/L以下
- E 類型：10mg/L以下

●湖沼における類型別環境基準 (COD 75%値)

- AA 類型：1mg/L以下
- A 類型：3mg/L以下

令和4年東北地方一級河川の水質現況 概要パンフレット
Recent condition of water quality of class A river in Tohoku

<http://www.thr.mlit.go.jp/>



国土交通省 東北地方整備局
河川部 河川環境課

〒980-8602
仙台市青葉区本町 3-3-1 仙台合同庁舎B棟
Tel. 022-225-2171 (代表)